

会議録（要点筆記）

会 議 名	平成 30 年度第 4 回 米原市子ども・子育て審議会
開 催 日 時	平成 31 年 3 月 4 日（月） 18 時 55 分～21 時 00 分
開 催 場 所	米原市役所近江庁舎 2 階会議室
出席者および欠席者	出席者：西川正晃委員（会長）、井量昭委員（副会長）、 辻みや子委員、村山善信委員、福永ひろみ委員、四方由美子委員、 山口浩徳委員、木田藤正委員、武田英里香委員、丸本光雄委員、 田中寿子委員 事務局：こども未来部：田中博之部長 子育て支援課：阿原麻木子課長、甲斐昭和也、高橋仁 保育幼稚園課：奥村義治課長（兼務）、中川浩代、庄司裕之、 清水一美、高畑光昭 欠席者：戸田光子委員、羽瀧香委員、角田吾一委員、筒井明香委員、 山本望委員
議 題	（1）特定教育・保育施設における「利用定員」の設定について （2）平成 31 年度における特定教育・保育施設（幼稚園・保育所・認定こども園）の利用予定者数について （3）平成 31 年度における放課後児童クラブの利用予定者数について （4）ニーズ調査の結果（詳細）およびアンケート調査結果報告書について （5）関係団体ヒアリングについて （6）その他
結 論	・ 特定教育・保育施設における「利用定員」の設定については、特段の意見はなく了承された。 ・ 委員の意見を踏まえ、引き続きニーズ調査を分析し、まとめたものを改めて委員に提示して意見を頂き、アンケート調査結果報告書にまとめる。 ・ 資料に基づき団体アンケートを行う。ヒアリング対象団体については、委員の意見を踏まえ事務局で検討する。
審 議 経 過 事務局	1 開会 皆さん、改めましてこんばんは。本日は、何かとお疲れのところ審議会に御参加いただきましてありがとうございます。また、場所が、山東庁舎ではなく近江庁舎ということで、お出にくいところをありがとうございます。ただ今から平成 30 年度第 4 回米原市子ども・子育て審議会を開催させていただきます。会長から御挨拶をよろしくお願いいたします。
会長	皆さん、こんばんは。前回は速報値を出していただきまして、それぞれのお立場から多岐にわたり、御意見をいただきましてありがとうございました。それを基に今日はこういう結果が出ましたというところ、またそこでいろいろとそれぞれのお立場から御意見や今後の方向などを、しっかり見据えることができればと思っております。どうぞ、忌憚のない御意見をよ

事務局	<p>ろしくお願いいたします。</p> <p>ありがとうございました。それでは、会議に入る前に資料の御確認をお願いいたします。先に送付させていただきました資料ですが、会議次第の裏面に配布させていただきました資料の一覧を載せておりますので、御確認をしていただきたいと思います。</p>
事務局	<p>【会議の資料1～6、追加資料について説明】</p> <p>会議の成立でございますが、米原市子ども・子育て審議会条例第6条第2項によりまして、委員の半数以上の出席が必要となっております。本日の出席委員は、委員16人のうち11人の方がお越しいただいておりますので、本審議会が成立しておりますことを報告いたします。また、本日の審議会は、米原市附属機関の会議の公開に関する要領に基づきまして、公開で行いますので傍聴者の入室を認めております。また、審議会の議事録ですが、要点を無記名で、公式ウェブサイト公表しますので御了承をお願いいたします。それでは、ここから議事に移りたいと思います。ここからの進行につきましては、条例第6条第1項によりまして会長にお願いしたいと存じます。会長よろしくお願いいたします。</p>
会長	<p>それでは、改めてこんばんは。どうぞ引き続きよろしくお願いいたします。傍聴人おられないということで、よろしかったですか。</p>
事務局	<p>そうですね。</p>
会長	<p>はい、わかりました。</p>
会長	<p>2 議題</p> <p>(1) 特定教育・保育施設における「利用定員」の設定について</p> <p>(2) 平成31年度における特定教育・保育施設(幼稚園・保育所・認定子ども園)の利用予定定員数について</p> <p>(3) 平成31年度における放課後児童クラブの利用予定者数について</p>
事務局	<p>それでは、議事が(6)その他まで用意されているということでございますので議事を進めさせていただきます。第2の議題で(1)(2)(3)が関連いたしますので、まとめて事務局から御説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>【事務局から、資料1～3に基づき説明】</p>
会長	<p>3つを一緒に説明していただいたのですが、まず1つ目、その利用定員の設定については、この審議会の意見聴取を行うということです。認定子ども園長岡学園についての御意見をいただくというのがまず1点です。2点</p>

	<p>目が、特定教育・保育施設の量の見込みということで、平成31年度1～2歳児45という数字が出ているのですが、弾力的運用によって待機児童は出ないという御説明があったと思います。それから3つ目の放課後児童クラブ、かなり急激な伸びが出ておまして、今、学区別に御説明もしていただき待機児童が出てしまう状況であると。ただ、それを看過しているのではなく、様々な民間児童クラブ等の参入を促すことなどの御説明がありました。以上3つにつきまして、皆様からの御意見あるいは御質問等、ここをもう少し詳しくということを出していただければと思います。よろしくをお願いします。いかがでしょうか。では私から1つ質問ですが、弾力的運用によって待機児童が出ないということですけど、この弾力的運用というのをもう少し具体的に教えていただけるとありがたいです。例えば、法を曲げての運用なのか、とにかく預かろうとしているのか、法の中において具体的にこういうふうになっているなど。</p>
事務局	<p>今ほどの御質問についてですが、まず都道府県の認可を受けてこういう児童福祉施設等を運営しておりますので、その認可基準の中で定められている保育所の配置基準は、公立認可施設を併せて、その範囲以内で受入れはしております。必要な子どもさんに対しては、保育士の確保は年度当初でしております。利用定員に対して、実際の受入れということに当たりましては、2年の間に120パーセントの範囲内であれば受入れができるという規定もあり、この範囲内では受入れをさせていただいています。利用児童が大変多い状況で、こういう定員の取扱いにおいて弾力的な適用が認められ、その範囲内で受入れをさせていただいています。</p>
会長	<p>決められた枠の中でしっかりとやっている、決して超法規的措置でやっているのではない、準拠しているということです。とはいえ、保育士不足の話も出ており、厳しい状況ではあるとは思いますが。難しい言葉が出ておりましたので、是非これはというところを。</p>
委員	<p>放課後児童クラブですけれども、最後の8ページのところで、米原小学校区のところの最後の方に民間児童クラブの参入を促すということが書いてあります。それぞれの各地元の方への説明、現状このようなものかというような説明は何かされているのか。地元の小学生がいるお家には分かっていると思うのですが、そうじゃない人は知らないということもあるかも分からないのでお聞きしたいと思います。</p>
会長	<p>学校との協議は行っているというお話はされていましたが、今の御質問は地域でその現状を説明して、何らかのその協力を得られているのか、あるいは得ようとしているのかという御質問ですが、いかがでしょう。</p>
事務局	<p>現状につきましては、議会には説明しています。今の子どもの安全を確保</p>

	<p>するために国は1人あたり 1.65 平方メートル、畳1畳分を示されています。どのクラブも子どもの数が多くなることによって、そしてまた異年齢の子どもたちが学校と違ってじっとしている場ではないので、けがのおそれですとか指導がなかなか入らないような状況も複雑にあります。地域に向けての話というのはできてはいないですけれども、クラブと話をしたり、学校とも協議しながら、市では1.65平方メートルの1.5倍の2.47平方メートルを1人当たりの面積として配分して、子どもたちの安全を確保しようということで方針を決めて、定員の見直しをさせていただきました。その結果、待機が出るクラブもありますが、年間利用については大原児童クラブ以外では受け入れることができました。ただ、夏休みについては、伊吹地域で5年生、6年生の子どもさんたちが夏休みを申し込まれているような状況です。7ページを見ていただきますと、例えば、伊吹地域ですと合計139人となっております。5年生、6年生は昔であれば、地元で遊んでいるという姿が見られていたのですけれども、今はやはり保護者さんが安全を一番に考えられてクラブに入れられるとか、地域でおじいちゃん、おばあちゃんに見てもらえないので、入れられるというケースもあるとは聞いております。そういったところも考えながら、春照小学校の多目的室を学校と協議してお借りするようにもしているのですけれども、地域に向けてもこういう子どもの見守りを是非していただきたいと思っております。</p>
委員	<p>やっぱりそのクラブの中だけで、そこで働いておられる大人の方だけで見るというのは厳しいのではないかとすごく思うので、是非その地域、外で遊ぶことができるのであれば、その地域の方にも協力をしてもらえるように、現状をお知らせしていただけるといいなと思います。</p>
会長	<p>やはり地域の方にも御理解をいただくという御意見をいただいていると思います。米原市は2.47平方メートルに設定されているのですね。</p>
事務局	<p>大原児童クラブも図工室を借りながら、非常に詰め込みみたいになっています。それではクラブの受託者さんも危険だということで平成31年度からはそういう方向で定員を決めさせていただきました。</p>
会長	<p>国は1.65平方メートルですよ。かなり広いですよ。</p>
事務局	<p>そうですね。</p>
会長	<p>実際、広いといっても狭いとは思いますが。物とか置いたりすると。他いかがでしょうか。</p>
委員	<p>私も放課後児童クラブのことで。今現在、私は長期の方で、一番上のお姉</p>

	<p>ちゃんもクラブに預かってもらっています。今年 19 人の待機が出るということは、ある程度選考されてのことだと思うのですが、どういうふうな選考になるのか。また、あふれた人たちを民間の方に誘導されるのであれば、説明会の場では民間のことはしゃべられたりするのですか。民間がどんな所なのかが知りたいです。</p>
事務局	<p>入会の決定の基準ですけれども、まずは年間の御利用をされる方で低学年を優先しますので、高学年になるほど優先度は下がってしまいます。同じ学年の場合、保護者さんの就労時間であったり、特別な事情、ひとり親さんであったりとかそういった入会決定をするに当たっての基準というのを設けています。やはり低学年の子どもさんは 1 人で留守家庭で過ごすことはできないということで御理解いただきたいと思います。民間の児童クラブですけれども、放課後児童クラブの開設届を出されている民間クラブはお家笑里クラブさんだけです。今は坂田小学校に通われている子どもさんを受け入れられ、定員も設けられています。そのお家笑里さんの基準は把握できていないですけれども、今は 1 か所だけです。</p>
委員	<p>そうすると、もし、その 19 人があふれた場合、どうしても入れたいとなった時は、ごめんなさいとなるのですかね。家でどうにか見てもらうってことですか。</p>
事務局	<p>そうですね。現状としては、待機でお待ちいただいている場合は、先ほどの基準で順番が付いています。もし、退会を誰かがされた場合は、順次お声を掛けさせていただきますけれども、今はお待ちいただく状況になります。</p>
委員	<p>もう 1 点。例えば、今の児童施設というか放課後児童クラブと、その民間児童クラブとどういう連携と取っているのですか。やっぱりこれも市の規定の 2.47 平方メートルを守っておられるのですか。</p>
事務局	<p>民間クラブに対しても、平成 30 年度の 10 月から補助をしているので、まずは児童クラブを開設しますという届けを出していただきます。お家笑里クラブさんはそれまでも委託をしていましたので、状況はよく分かるのですけれども、クラブとしての開設届を出していただいて、子どもさんを何人受け入れるとか、支援員を何人配置するとか、市の基準と合わせてやっていただく。ただし、民間さんの良さもあり、お家笑里クラブさんは他の公設とは違った味を出されながら運用をされているということは伺っています。ただし、国の基準というのはクリアをしています。</p>
会長	<p>今の話で、民間は市の基準はいいということですね。国の基準ですね。</p>

事務局	そうですね。
会長	はい、わかりました。やっぱり待機が出るというのは事実ですが、先ほど御意見いただいた、その地域にこういう待機が出ますということを知っておいていただいて、やはり地域で何とかしていただける部分はあるかもしれませんし、あらゆるチャンネルで対応していかないと。是非その御意見受けとめていただければと思います。では、ちょっと先に進みますが、また御意見がありましたら後でお願いいたします。
事務局	会長、少しよろしいですか。
会長	はい、お願いします。
事務局	先ほど、今の議題の（１）（２）（３）の中で、（１）特定教育・保育施設における「利用定員」の設定につきましては、説明をさせていただきましたように、子ども・子育て審議会でご意見をいただきたいですけれども、利用定員の設定については、御意見をいただけていないので、無いということではよろしいでしょうか。
会長	特に問題なしという御意見をいただいていると理解しておりましたが。
事務局	はい、ありがとうございます。
会長	では、次にいきます。
会長	（４）ニーズ調査の結果（詳細）およびアンケート調査結果報告書について 続いて、（４）ニーズ調査の結果（詳細）およびアンケート調査結果報告書について事務局からお願いいたします。
事務局	【資料４～５について説明】
会長	説明していただくのも大変だったと思います。ありがとうございました。いろいろと前回意見を頂いたところを基にクロスを掛けていただいているようにも思いますし、もう少しここも知りたいなというところがあるかもしれません。感想でも結構です。あるいは御質問。クロスの方によって、こういう関係を見てはどうかという御意見でもいいと思いますが、いかがでしょうか。私からですが、子どもに身に付けてほしい力というのを今回取られましたよね。兄弟の人数でというのもおもしろい集計だと思うのですが、私がすごく知りたいと思うのは、例えば、子どもに身に付けてほしい力というのが、子育て不安世帯ではどういうふうに出ているか、あ

	<p>るいは子育てを楽しくないと感じている人たちにとって、どう出るか。というのは、すごく私は有意差が出るのではないかなと思うのです。楽しくないと思っているお家というのは、すごく偏った情報でいわゆる悪しき早期教育的な傾向があるのではないかな。もっと伸び伸びと、例えば様々な体験をすることとか、関わって遊ぶというのを、あまり大事にされていないのかもしれない。そういうクロスも見たいなというところは感じました。</p>
事務局	<p>先ほどありました、子育てに不安や負担を感じるという世帯の場合ですと、ルールやマナーを守ることを 67.1 パーセントの方が身に付けてほしいと感じておられます。全体で 60 パーセントくらいなので、社会のルールを守ってほしいという思いが強いところがございます。読み書き、計算などをするというの、全体ですと 6.3 パーセントですけれども、若干ですが、子育てに不安や負担をよく感じるという世帯で 11.8 パーセントということで 1 割くらいの方は、子どものうちから読み書き、計算を身に付けた方がいいと思われているところが見てとれると思っております。</p>
会長	<p>クロスを積み重ねていくと、不安な方というのは相談する人もいないとか、そういう傾向をもう少し出していけるかなと。もちろんこのきょうだいの人数によってというのもおもしろいんですけども。特に不安に思っておられる方とか、楽しくないという方がどういう傾向にあるのか。相談する人も少ないし、しがらみで巻かれているから苦しい、だから、そこを解き放っていくような支援策であるとか支援の方向というものが見えればいいかなと。せっかくこれだけのアンケートと取ったのですから、もう少しクロスの仕方をやってほしいなど。</p>
事務局	<p>子育て不安世帯の子育て観につきましては、より詳しく計画の策定に向けて分析をしていきたいと思えます。</p>
会長	<p>今日は単純なデータだけだと思うのですが、是非そこを反映していただけたらいいかなと思います。皆さん他のところでも結構です。例えば、学区別というの、いくつか集計しておりますけれども、もう少しこういうことを知りたいとか、あるいは今の御説明での御質問などを出していただければと思います。</p>
委員	<p>4 番の問題の子ども同士の交流、子どもの遊び場について、校區別に 3 点ほど挙げていただいているのですが、理由が分からなくて。例えば、河南小と坂田小と息長小では、遊び場の充実が最も高くなっている。米原学区が少ないような気もするのに、どうして河南小学校がこういうふうになっている原因と思われることを少し簡単にでも説明していただけると。</p>
事務局	<p>資料 4-1 の 12 ページで、地域性の分析とありますか、可能性として挙げ</p>

	<p>られることですが、先ほどの河南小学区と坂田小学区と息長小学区が遊び場の充実が最も高くなっているのに比べて、米原小学区はそれがないというのは、例えば、米原小学区は彦根市が近いので、そういう回答傾向が見られなかったのかもしれませんが。彦根や長浜といった市外の遊び場に一定の距離がある場所は、地元でそういった遊び場、公園や施設がほしいという回答が多かったのかもしれないと考えております。また、3番目ですが、外遊びを中心に遊ばせたいという回答が、大原小学区と米原小学区は9割程度と高いというのは、大原も米原も、特に大原は大規模・中規模の新興住宅のお子さんがちょうど小学校に入っているため、そういった所に住まわれている方が、外遊びの場所を欲しいと願っておられるかなど。米原小学区についても、同じような傾向があるのかもしれないということも思っております。1番目と3番目についてはそのようなことも推測されると思っております。</p>
会長	<p>今の回答についてはたぶん推測の域ですが、例えば、自由記述というのがありました。そこをもう少し丁寧に見ていくと、例えば、公園が少ないとか、彦根市行っていますとか、そういうものがあれば、今の回答に一定の根拠があるので、それも読みとることはできますか。</p>
事務局	<p>自由記述も併せて分析をして、そういった回答はないか、傾向はないかというのはつかんでいきたいと思っています。</p>
会長	<p>今の御質問については、その自由記述も含めて説明していただく方がいいのかなという気はいたします。今のその御回答いただいた傾向が見えるかわかりませんが、いかがでしょうか。もう少しここは知りたいとか、ここの詳細の説明をというようなこと、感想でも結構です。また私からですが、先ほどの子育て不安世帯とか、子育てを楽しくないと感じるような方々が、どういう支援を求められているかというのを、確か前回、私も意見として述べたように思うのですが。</p>
事務局	<p>例えば、問53の「米原市が、今よりももっと子育てしやすいまちとなるためにはどのようなことが重要だと思いますか」あたりでしょうか。</p>
会長	<p>特に今そのことについて御回答いただく必要はございませんけれども、是非、その傾向も見たいなということを思います。委員の皆さん、いかがでしょうか。感想でも結構です。</p>
委員	<p>アンケートとは直接関係ないかも分かりませんが、不安を感じておられる方々が、すくすく相談とかを利用されている確率が高いということをおっしゃったような気がするのですが、このアンケートの回収率を見ますと50パーセントちょっとということで、家庭訪問をしても来ないと言われる</p>

	<p>る家庭とか、保育園で家庭に行く機会があっても来てもらうのは困るというような家庭があるということをお聞きしました。このアンケートがもしそういうお宅に行っているとしたら、多分返ってきていないと思うので、そういう部分はここに反映されていないのかなという気がして私自身ちょっと不安に思いました。外部をシャットアウトされてしまっている家庭がたとえ1件でもあったら、そこをどうやってピックアップしていくのか。アンケートの中では見えない部分も違う手立てで考えていただけたらなと思いました。</p>
<p>会長</p>	<p>アンケートにも関わっている貴重な御意見をいただいたと思います。つまり子育て支援策は、来た人はできるけれども出て来ない人が問題というのは、常に言われているところがございますので、その辺りの課題というのは難しい問題ではありますけれども、避けては通れない、しっかり見据えていかなければならない問題だと思います。貴重な御意見ありがとうございます。このクロス集計等のことを含めて、今日は審議できませんが、結果報告書に織り込むということですが、出来上がった部分については、また意見聴取していただくことは可能なのでしょうか。今後の流れとも関わるのですが、どういう予定でしょうか。これを踏まえたものが出来上がると。これは数字だけですので。</p>
<p>事務局</p>	<p>この3月末に報告書を仕上げたいと思うのですが、今日の御意見を踏まえたもので、さらに分析したものなどは一旦委員の皆様にお配りをして、そこで確認もしていただきながら、あるいは、そこでさらに御意見を頂いて、最終的に集約するという方向で委員の皆様に見ていただいて、意見を頂く機会を設けたいということをおもっております。</p>
<p>会長</p>	<p>多分、御意見がないというよりも、むしろ、かなりゆっくりと考えたいところだと思います。今日の審議も踏まえて、皆様熟慮していただきまして、御意見を反映させていただければと思いますので、よろしく願いいたします。時間が短い中で、そういうふうなことを申し上げるのは心苦しいのですが、御意見をよろしく願いいたします。それでは、次にまいりたいと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>(5) 関係団体ヒアリングについて 議題の(5) 関係団体ヒアリングについてのことについて、事務局から説明をお願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>【資料6について説明】</p>
<p>会長</p>	<p>ただ今、ヒアリング調査の設計につきましての御説明をいただきました。特に、この団体でいいかどうか、設問はこれでいいかという大きく2点を</p>

<p>委員</p>	<p>問いかけていただきました。いかがでしょうか。</p> <p>16 ページのヒアリング対象団体ということで挙げていただいています。市内で活動されている方、ほぼ挙がっているという項目と、ピックアップされているところがあるかと思うのですが、例えば、自治会・子ども会、7 番です。4 つほど挙がっているのですが、その選定理由というかバランス、例えば、子どもの多いところとも考えられるのでしょうか、逆に少ないところも聞かないといけないとか、そのあたりのバランスは取れているのかという辺りが1点です。もう1点、先ほど、委員がおっしゃられたように、このアンケートに答える余裕すらない人の声、本当にしんどい思いをしておられる方の声を拾おうというところで、当然、貧困の話もあつたので社会福祉課とかも入って来られるのかなと思う。あとは、例えば、保育園さんとかこども園さんとか、直に保護者と接しておられる先生方も入って来られるのか。</p>
<p>会長</p>	<p>2点ですね。自治会のバランス、チョイスしたその根拠についてと、あと市内アンケートのことですね。具体的にどういうところを聞いていかれるのかということ、以上2点お願いできますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>まず1点目の自治会なり子ども会というところですが、地域ごとに旧町単位で1地域ずつ選定をしております。自治会長ではお答えにくいところもあるかと思いますが、そういったところは子ども会の関係者に是非回答をいただきたいと思っています。まずは新興住宅がある米原地域から米原ステーションタウンの自治会、それから近江地域は旧の集落と中規模程度の新興住宅ができておまして、そこも含めて1つの自治会としてされている顔戸の自治会にお聞きしたい。山東につきましては、大野木が高齢者の福祉ということで、まちづくり会で非常に活発に活動されていますので、そういった高齢者の福祉なりまちづくり活動と子どもとの関係で選定させていただいております。伊吹地域につきましては、人口もある程度おられるのですが、子どもは減ってきている、あるいはその中でもまだ自治会の活動が活発にされている伊吹を選んでいきます。伊吹と大野木については、子どもの数が減ってきているところかなと思いますし、逆に米原ステーションタウン、顔戸というのは、新興住宅であつたり新旧が混じったような自治会ということで、ピックアップをさせていただきました。おっしゃっていただいたように、少ないところから意見聴取という視点がなかったので、そこは是非御意見をいただきながら追加するのか、どこかに入れ替えるのかについては、御意見を頂戴したいと思っております。もう1点、貧困の市内ワーキングチームを立ち上げるという説明はさせていただきましたが、補足と言いますか説明が抜けておりました。市内につきましては、ここには挙がっていませんが、時間の許す限り、内部で意見聴取はしていきたいと思っております。認定こども園はありますので、現場</p>

<p>会長</p>	<p>の意見も聞いていきたいとも思っております。健康づくり課の発達支援センターや社会福祉課、あるいは人権というところも子どもの権利という部分では外せないところです。人口増加の方向性ということであれば都市計画課にも今後の開発の見込み等も聞きながら、情報を集めていきたいと思っております。</p> <p>2点お答えいただきました。少ないところも入れていってほしいという御意見だと思っておりますので、御検討いただければと思います。他いかがでしょうか。子どもの貧困のプロジェクトを立ち上げるということなのですから、今後の方向として分かる範囲で結構なのですが、その事業計画のように貧困対策計画みたいなものを策定されるというような見通しを持っておられるということですか。</p>
<p>事務局</p>	<p>貧困対策計画を設定するかどうかもまでは、今の段階では何も決まってはいません。貧困問題につきましては、すでに相談業務がいろいろな課またがっておりますし、そこには子どもも含まれた世帯に対する補助ですとか給付をしている部署もあります。まずは複数の部署に関係課が分かれていますし、また子どもが貧困かどうかというのは、そういった給付をしている、していないに限らず、認定こども園での様子ですとか、小学校や中学校での様子で初めて分かるということもありますので、そういったところもプロジェクトチームには入ってもらいたいと思っています。ただ一方で、子どもの貧困という非常にデリケートな個人情報扱うということになりますので、どこまでの情報を扱えるのかということも分かりません。虐待については昨今、社会問題化もされていますので非常に関心は高いのですけれども、貧困についても、さらにもう一步踏み込んで子どもたちの様子も把握していくようなきっかけづくりがスタートするのが、来年度からというような予定をしております。</p>
<p>会長</p>	<p>一步踏み出していただくということで、ヒアリングの項目にも入ってきているということです。それでは、今の御意見も踏まえまして、団体ヒアリングを実施していくということで、特に聞き取っていくということも具体的にお示しいただいていますので、是非良い方向性が出せるようにということで、よろしくお願いいたします。</p>
<p>会長</p>	<p>(6) その他</p> <p>それでは、(6) その他ということで、(1) から (5) までの内容で振り返っていただきまして、ここを言い忘れていたとか、これだけは言いたいとか、特に、多分任期がこの3月で終わりますので、最後に一言これだけは言っておこうということがありましたら御意見を頂戴できればと思います。</p>

委員	<p>何か毎回言っている同じようなことなのではけれども、この場で話すいろいろな支援の計画で、いつも行政とかいろいろなところから子育てをしている人へのサービスをどのように提供するかというようなことになりま す。さっきのアンケートのクロス集計の資料にあった中の12ページの子 どもの交流とか子どもの遊び場についてというところを見て思ったのですけ れども、下の黒丸が3つあって下の2つ、「子ども同士が交流できるような 場所が必要」とか「外遊びをさせたい」とかは、子ども会の活動ではない かと思いました。各地域の子ども会は子どもが主役で、子どもがいない地 域の方に協力していただくのも大事ですけれども、主に親が面倒見つつや ることになるので、やはり親自身が自分たちもできることはやっ ていこうという意識を持ってもらうのが本当に大事なかなと思いました。</p>
会長	<p>親自身の意識をもう少し高めていくということはずっと言っていたいて いると思います。なかなか難しいですけれども、そこを見逃してはいけ ないという御意見です。他いかがでしょうか。時間ばかりが過ぎてしまっ て、なかなか御発言いただけないままに終わってしまうのは心苦しいで す。先ほど事務局からありましたが、報告書にいろいろな内容のものを込 めて出させていただきますので、そこで改めて御意見いただくことにな るかもしれませんが、いろいろ子育てに関わっての皆さんの御意見も出 していただければと思います。皆様のいろいろなお立場からの御意見で 、何とかこうして進めて来られたと感謝しております。ありがとうございます。それ では、事務局にお返ししたいと思います。</p>
事務局	<p>会長および委員の皆様ありがとうございました。それでは、次第の3の その他につきまして、事務局の方から説明させていただきます。</p>
事務局	<p>3 その他 【平成31年度の開催予定の報告】</p>
事務局	<p>それでは閉会にあたりまして、井量副会長から、御挨拶をお願いいたし ます。</p>
副会長	<p>皆様、3月年度末のお忙しい中、御参加をいただきまして本当にありが うございました。今日の審議会いろいろと利用定員のことから放課後児童 クラブ、それからニーズ調査のことたくさんのお話があったかと思いま す。特に、調査のこの結果に関しましては、子育て家庭の子どもさんとか親御 さんの問題点を洗い出してみたわけです。今後これから、子育て支援関係 団体のヒアリングということが始まってくるわけではけれども、やはり米 原市としましても子育て家庭と、こういった私たち子どもに関わる団体、 たくさん米原市の団体があります。そして事務局である米原市の中にも いろいろな課があるわけではけれども、その3つの関係性というものが、</p>

	<p>ひつつきすぎても駄目ですし、離れ過ぎても駄目ですし、子どもの家庭と子育て団体だけでやっても無理があります。その3者がうまく活動しないと、今日のようなニーズというものもしっかり反映することができないかなということを思っております。今は、子どものことをクローズアップしてまいりましたけれども、やはり支援していただく団体にもしっかりと米原市の支援が届かないと、委員の中からもいろいろとありましたように、なかなか活動とか目標とかだけでは運営ができません。米原市の支援というものもしっかりとうまく回さないと、子どものそういった状態ばかりに目を向けてはうまく回らないと思っておりますので、この今日の第1期のこれから点検・評価、そして年号が変わりますけれども、また新たな年に向けての米原市の支援計画というものを策定をしていただければと思います。私がこうやって挨拶させてもらうのは、網最後なのかどうかは分かりませんが、またここにお集まりの委員の皆様、それから米原市がより良い活動ができますことを願ひまして、本日の閉会の御挨拶とさせていただきます。本当に、本日はありがとうございました。</p>
事務局	<p>平成 29 年、30 年度の 2 か年、子ども・子育て審議会として開催してまいりました。今回が最終となりますので、こどもみらい部長の田中からお礼の御挨拶を申し上げます。</p>
こども未来部長	<p>本日は誠にありがとうございました。終わりにあたりまして、一言御礼を申し上げます。委員の皆様には、この 2 年間、子ども・子育て審議会委員ということで、熱心に御議論いただきましてありがとうございました。この審議会の運営に当たっていただきました、会長様、副会長様、誠にありがとうございました。また委員の皆様には 2 年間、この会議に御出席いただきまして、それぞれの立場で米原市の子どもたちのための活発な御意見を頂きましたことを、重ねてお礼を申し上げたいと思います。平成 29 年度には計画に基づきます進捗管理なり、またこの計画の中間年度もありましたので、量の見込みの見通しの見直しという作業にも関わっていただきました。2 年目となりましたこの平成 30 年度には、新たな第 2 期の計画策定に向けてのニーズ調査等につきましても、御意見も頂きましてクロス集計もさせていただきながら、この 3 月末には一定の報告書という形でまとめさせていただきたいと思ひます。米原市の子どもたち、また親御さんの現状を把握できたデータという形でまとめることができるかと思ひます。これらを基に平成 31 年度には、新たな第 2 期の子ども・子育て支援事業計画を、策定をしていきたいと思ひています。審議会につきましては新たな体制となるわけですが、この 2 年間関わっていただきました皆様、是非いろいろなお声掛け、御知恵をそれぞれの立場から引き続きいただきたいということをお願いさせていただきたいと思ひます。本当に 2 年間、皆様方にはお世話になりました。誠にありがとうございました。言葉足りま</p>

事務局	<p>せんけれども、お礼とさせていただきます。誠にありがとうございました。</p> <p>それでは、これに基づきまして会議を終了させていただきたいと思います。本日はありがとうございました。お気をつけてお帰りください。</p> <p>閉会</p>
-----	--

会議の公開・非公開の別	<p>■公開 傍聴者： 1人</p> <p><input type="checkbox"/>一部公開</p> <p><input type="checkbox"/>非公開</p> <p>一部公開または非公開とした理由 ()</p>
会議録の公開・非公開の別	<p>■開示</p> <p><input type="checkbox"/>一部開示（根拠法令等：)</p> <p><input type="checkbox"/>非公開（根拠法令等：)</p>
全部記録の有無	<p>会議の全部記録 ■有 <input type="checkbox"/>無</p> <p>録音テープ記録 ■有 <input type="checkbox"/>無</p>
担当課	こども未来部子育て支援課